



# **Sun GlassFish Communications Server Diameter Adapter 1.0 リ リースノート**



Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054  
U.S.A.

Part No: 821-1283-10  
2009 年 12 月

Sun Microsystems, Inc. (以下米国Sun Microsystems社としますは、本書に記述されている製品に含まれる技術に関連する知的財産権を所有します。特に、この知的財産権はひとつかそれ以上の米国における特許、あるいは米国およびその他の国において申請中の特許を含んでいることがあります。が、それらに限定されるものではありません。

U.S. Government Rights--Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者によって開発された素材を含んでいることがあります。

本製品のは、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

un、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com Java、Java およびは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。すべてのSPARCは、米国SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いたは、米国Sun Microsystems社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK および Sun<sup>TM</sup> Graphical User は、米国Sun Microsystems社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国Sun Microsystemsは、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国Xerox社の先駆者としての成果を認めるものです。米国Sun Microsystems社は米国Xerox社からXerox Graphical User Interfaceの非独占的ライセンスを取得しており、このは、OPENLOOKのグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国Sun Microsystems社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国Sun Microsystems社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書で言及されている製品や含まれているは、米国輸出規制法で規制されるものであり、その他の国の輸出入に関する法律の対象となることがあります。核、ミサイル、化学あるいは生物兵器、原子力の海洋輸送手段へのは、直接および間接を問わず厳しく禁止されています。米国が禁輸の対象としているや、限定はされませんが、取引禁止顧客や特別指定国民のリストを含む米国輸出排除リストで指定されているものへの輸出および再輸出は厳しく禁止されています。

本書は、「現状」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われないものとします。

# 概要

---

Sun GlassFish™ CommunicationsServer Diameter Adapter 1.0 は、Diameter スタックを CommunicationsServer に統合します。Sun のお客様は、[SunSolve](#) で Diameter Adapter を入手できます。

Sun GlassFish CommunicationsServer は、SunGlassFish Enterprise Server に Session Initiation Protocol (SIP) Servlet テクノロジーの機能を追加します。

SunGlassFishCommunicationsServerは開発、配備、および再頒布の用途に無償で使用できます。頒布を予定しているは、再頒布ライセンスについて[SunOEM](#)販売にお問い合わせください。

- [3 ページの「このリリースノートについて」](#)
- [4 ページの「アクセシビリティ機能」](#)
- [4 ページの「関連マニュアル」](#)
- [5 ページの「問題の報告とフィードバックの方法」](#)
- [6 ページの「このマニュアルに関するコメント」](#)
- [6 ページの「その他の情報」](#)

## このリリースノートについて

このリリースノートには、SunGlassFish CommunicationsServer 2.0 用 Diameter Adapter のリリース時点で入手できる重要な情報が含まれています。拡張機能、既知の問題、およびその他の最新の情報が記載されています。

このリリースノートのは、CommunicationsServer [ドキュメントWebサイト \(http://docs.sun.com/coll/1343.10\)](#) から入手できます。ソフトウェアをインストールおよび設定する前だけでなく、それ以降も定期的にこのWebサイトをチェックして、最新のリリースノートと製品マニュアルを確認してください。

このマニュアル内で参照している第三者のは、追加の関連情報を提供します。

注- このドキュメント内で引用する第三者のWebサイトの可用性についてSunは責任を負いません。こうしたサイトやリソース上の、またはこれらを通じてな、コンテンツ、広告、製品、その他の素材について、Sunは推奨しているわけではなく、Sunはいかなる責任も負いません。こうしたサイトやリソース上の、またはこれらを経由してな、コンテンツ、製品、サービスを利用または信頼したことによって発生した(あるいは発生したと主張される)いかなる損害や損失についても、Sunは一切の責任を負いません。

## リリースノート改訂履歴

ここでは、SunGlassFishCommunicationsServer製品の初版リリース以降に各リリースノートで加えられた変更点を示します。

表 1-1 リリースノート改訂履歴

改訂日付	説明
2009 年 12 月	CommunicationsServer 用 Diameter Adapter のリリース。

## アクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を入手するには、米国リハビリテーション法508条に関する製品評価資料をSunにし、その内容で、どのが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。アプリケーションの最新は、<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html>で入手できます。

アクセシビリティ機能に対するSunのコミットメントについては、<http://sun.com/access>を参照してください。

## 関連マニュアル

表 1-2 CommunicationsServerのドキュメントセットの内容

ドキュメント名	説明
『DocumentationCenter』	タスクや主題ごとに整理されたCommunicationsServerのドキュメントのトピック。
『リリースノート』	ソフトウェアとドキュメントに関する最新情報。サポートされているハードウェア、オペレーティングシステム、Java™DevelopmentKit(JDK™)、およびデータベースドライバの包括的な表ベースの概要を含みます。
『クイックスタートガイド』	CommunicationsServer製品の使用を開始するための手順。
『InstallationGuide』	ソフトウェアとそのコンポーネントのインストール。

表 1-2 CommunicationsServerのドキュメントセットの内容 (続き)

ドキュメント名	説明
『アプリケーション配備ガイド』	アプリケーションおよびアプリケーションコンポーネントのCommunicationsServerへの配備。配備記述子に関する情報を含みます。
『開発者ガイド』	CommunicationsServer上で動作することを目的とし、JavaEEコンポーネントおよびAPIのオープンJavaスタンダードモデルに準拠した、Java2Platform,EnterpriseEdition(JavaEEプラットフォーム)アプリケーションの作成と実装。開発者ツール、セキュリティ、デバッグ、ライフサイクルモジュールの作成に関する情報を含みます。
JavaEE5Tutorial	JavaEE5プラットフォームテクノロジーとAPIを使用したJavaEEアプリケーションの開発。
『JavaWSITTutorial』	Webサービス相互運用性テクノロジー(WSIT)を使用したWebアプリケーションの開発。WSITテクノロジーを使用する方法、時期、およびと、各テクノロジーがサポートする機能およびオプションについて説明します。
『管理ガイド』	設定、監視、セキュリティ、資源管理、およびWebサービス管理を含むCommunicationsServerのシステム管理。
『可用性(HA)管理ガイド』	クラスタの設定、ノードエージェントの操作、およびロードバランサの使用法。
『AdministrationReference』	CommunicationsServer設定ファイルdomain.xmlの編集。
『パフォーマンスチューニングガイド』	パフォーマンスを向上させるためのCommunicationsServerの調整。
『ReferenceManual』	CommunicationsServerで使用できるユーティリティコマンド。マニュアルページのスタイルで記述されています。asadminコマンド行インタフェースも含みます。

## 問題の報告とフィードバックの方法

SunGlassFishCommunicationsServerに問題が発生したは、次のいずれかの方法でSunにお問い合わせください。

- [SailFinメーリングリスト \(https://sailfin.dev.java.net/servlets/ProjectMailingListList\)](https://sailfin.dev.java.net/servlets/ProjectMailingListList)—多くの情報やフィードバックを得られる、さまざまなSailFinコミュニティのメーリングリスト
- [JavaDeveloperConnectionのバグデータベース \(http://developer.java.sun.com/servlet/SessionServlet?url=/developer/bugParade/index.jshtml\)](http://developer.java.sun.com/servlet/SessionServlet?url=/developer/bugParade/index.jshtml)—バグを表示または提出するには、JavaDeveloperConnectionBugParadeを使用します。
- [SailFinIssueTracker \(https://sailfin.dev.java.net/servlets/ProjectIssues\)](https://sailfin.dev.java.net/servlets/ProjectIssues)
- [JavaTechnologyForums \(http://forum.java.sun.com/\)](http://forum.java.sun.com/)—Javaテクノロジーおよびプログラミング技術に関する情報や質問を共有するための、対話型のメッセージボード。

- [SunSoftwareSupportServices \(http://www.sun.com/service/sunone/software\)](http://www.sun.com/service/sunone/software)-ナレッジベース、オンラインサポートセンター、ProductTracker、および保守プログラムやサポートに関する問い合わせ番号へのリンク
- 保守契約を結んでいるお客様のは、専用をご利用ください。  
最善の問題解決のため、サポートに連絡する際には次のご用意ください。
- 問題が発生した箇所や動作への影響など、問題の具体的な説明
- マシン機種、OSバージョン、および製品のバージョン(問題に関係するパッチおよびその他のソフトウェアを含む)
- 問題を再現するための具体的な手順の説明
- エラーログやコアダンプ

## このマニュアルに関するコメント

弊社では、ドキュメントの改善に努め、お客様からのコメントおよびごをお受けしております。

コメントを共有するには、<http://docs.sun.com>にアクセスして、「」をクリックします。このオンラインフォームでは、マニュアルのタイトルとPartNo.もご記入ください。Part、7か9桁ので、ドキュメントのタイトルページまたは最初のページに記載されています。たとえば、このドキュメントの場合、タイトルは『SunGlassFish CommunicationsServer Diameter Adapter 1.0 リリースノート』、Part No. は 821-1283-10 です。

## その他の情報

以下の場所から有益な情報を入手することができます。

- [CommunicationsServer製品情報 \(http://www.sun.com/software/products/appsrvr/home\\_appsrvr.html\)](http://www.sun.com/software/products/appsrvr/home_appsrvr.html)
- [プロフェッショナルサービス \(http://www.sun.com/service/sunps/sunone\)](http://www.sun.com/service/sunps/sunone)
- [ソフトウェア製品とサービス \(http://www.sun.com/software\)](http://www.sun.com/software)
- [ソフトウェアサポートサービス \(http://www.sun.com/service/sunone/software\)](http://www.sun.com/service/sunone/software)
- [サポートとナレッジベース \(http://www.sun.com/service/support/software\)](http://www.sun.com/service/support/software)
- [SunSupportおよびトレーニングサービス \(http://training.sun.com\)](http://training.sun.com)
- [コンサルティングとProfessionalServices \(http://www.sun.com/service/sunps/sunone\)](http://www.sun.com/service/sunps/sunone)
- [開発者向け情報 \(http://developers.sun.com\)](http://developers.sun.com)
- [SunDeveloperSupportServices \(http://www.sun.com/developers/support\)](http://www.sun.com/developers/support)
- [ソフトウェアトレーニング \(http://www.sun.com/software/training\)](http://www.sun.com/software/training)
- [Sunソフトウェアデータシート \(http://www.sun.com/software\)](http://www.sun.com/software)
- [SunMicrosystems製品ドキュメント \(http://docs.sun.com/\)](http://docs.sun.com/)

## SunGlassFish CommunicationsServer 2.0 用 Diameter Adapter

---

Diameter Adapter は、Diameter スタックを Sun GlassFish CommunicationsServer に統合します。SunGlassFishは、大規模な本稼働環境でのWeb、SIP、および融合と、JavaテクノロジーベースのWebサービスの開発と配備に利用できるJavaEE5プラットフォーム互換サーバーです。

この章で説明するは、次のとおりです。

- 7 ページの「[SunGlassFish CommunicationsServer 用 Diameter Adapter の機能](#)」
- 8 ページの「[ハードウェアとソフトウェアの要件](#)」

### SunGlassFish CommunicationsServer 用 Diameter Adapter の機能

Diameter Adapter は次の機能を備えます。

- **Diameter** プロトコルのサポート — Diameter は、認証、承認、アカウントिंग (AAA) のためのネットワークプロトコルです。たとえば、ほとんどのインターネットサービスプロバイダ (ISP) は、ユーザーにネットワークへの接続を許可する前に、このプロトコルを AAA に使用します。SunGlassFish CommunicationsServer は、Diameter Adapter の使用を通して Diameter プロトコルをサポートします。
- **RFC および 3GPP 仕様の実装** — CommunicationsServer 用 Diameter Adapter は、次の RFC および 3GPP 仕様を実装します。
  - RFC 3588
  - RFC 4006
  - 3GPP TS 29.329、29.328、32.260、32.299
- **アドオンインストーラ** — Diameter Adapter には、既存の CommunicationsServer インストールに Diameter モジュールをインストールするためのインストーラが用意されています。
- **注釈のサポート** — 属性値ペア (AVP) を短時間で開発できるように、次の注釈が定義されています。`com.sun.diameter.annotation.AVPFactory` および `com.sun.diameter.annotation.AVPInfo`。

- 標準 **Diameter** インタフェースのサポート — CommunicationsServer は、次の Diameter インタフェースをサポートします。
  - Rf インタフェース - オフライン課金の機能で使用されます。
  - Ro インタフェース - オンライン課金の機能で使用されます。
  - Sh インタフェース - 透過的および非透過的なユーザーデータのダウンロードと更新に使用されます。また、ユーザーデータ変更時の通知の要求および送信にも使用されます。
- 管理の容易性 — CommunicationsServer では、CLI および GUI を使用して Diameter Adapter を簡単に管理できます。
- オープンソースおよび **SailFin** コミュニティー - **SailFin** (<http://sailfin.dev.java.net>) は、JavaEE5 プラットフォームの最新機能とそれに関連したエンタープライズテクノロジーを実装した、無償でオープンソースの商用レベルのコミュニケーションサーバーを開発することを目標としています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

この節では、SunGlassFishCommunicationsServerをインストールする前に満たしている必要のある要件を示します。

- [8 ページの「サポートされるプラットフォーム」](#)
- [10 ページの「重要パッチ情報」](#)
- [10 ページの「JDKバージョン」](#)

サポートされるプラットフォーム

次のに、SunGlassFishCommunicationsServer製品と互換性があるオペレーティングシステムを示します。

表2-1 サポートされるオペレーティングシステム

オペレーティングシステム	最小メモリー	推奨メモリー	最小ディスク容量	推奨ディスク容量	JVM	配備のタイプ
SunSolaris10(x86)および64ビット)	350Mバイト	512Mバイト	250Mバイトの空き領域	500Mバイトの空き領域	J2SE5.0-32ビット Java6-32ビット および64ビット	稼働
SunSolaris10(SPARC)および64ビット)	512Mバイト	512Mバイト	250Mバイトの空き領域	500Mバイトの空き領域	J2SE5.0-32ビット Java6-32ビット および64ビット	稼働

表 2-1 サポートされるオペレーティングシステム (続き)

オペレーティングシステム	最小メモリー	推奨メモリー	最小ディスク容量	推奨ディスク容量	JVM	配備のタイプ
RedHatEnterprise Linux 5.0 (32ビットおよび64ビット)	512Mバイト	4Gバイト	250Mバイトの空き領域	500Mバイトの空き領域	J2SE5.0-32ビット Java6-32ビット および64ビット	稼働
SuSE Linux Enterprise Server 10 (32ビットおよび64ビット) (SP1およびSP2もサポートされています)	512Mバイト	4Gバイト	250Mバイトの空き領域	500Mバイトの空き領域	J2SE5.0-32ビット Java6-32ビット および64ビット	稼働
Windows XP Windows Vista Windows 2008	1Gバイト	2Gバイト	500Mバイトの空き領域	1Gバイトの空き領域	J2SE5.0-32ビット Java6-32ビット および64ビット	開発
Windows 7	1Gバイト	2Gバイト	500Mバイトの空き領域	1Gバイトの空き領域	J2SE5.0-32ビット Java6-32ビット および64ビット	開発
Macintosh OS 10.5 Mac OS X 10.6	1Gバイト	1Gバイト	250Mバイトの空き領域	500Mバイトの空き領域	J2SE5.0-32ビット Java6-32ビット	開発
OpenSolaris 2009.10	1Gバイト	1Gバイト	250Mバイトの空き領域	500Mバイトの空き領域	J2SE5.0-32ビット Java6-32ビット および64ビット	開発

UNIX™では、オペレーティングシステムのバージョンをunameコマンドで確認できます。ディスク容量はdfコマンドで確認できます。

注 - WindowsプラットフォームでCommunicationsServerを実行している場合は、FATやFAT32ではなくNTFSファイルシステムを使用する必要があります。

重要パッチ情報

Solarisのパッチ要件

Solaris10(x86またはSPARC)を使用する場合には、「Sun推奨」をインストールをお勧めします。このは、[SunSolve \(http://sunsolve.sun.com/pub-cgi/show.pl?target=patchpage\)](http://sunsolve.sun.com/pub-cgi/show.pl?target=patchpage) Webの「推奨」で入手できます。

JDKバージョン

CommunicationsServerでな(動作が保証されている)JDKの最小は、**1.6.0\_7**です。

▼ サポートされている**JavaSE**バージョンへ切り換える

次の手順でasenvfileを編集して、サポートされているJavaSEバージョンに切り替えることができます。

- 1 システムに新しい**JavaSE**バージョンをインストールします(インストールしていない)。  
JavaSESDKは<http://java.sun.com/javase>からダウンロードできます。
- 2 **CommunicationsServer**ドメインを停止します。
- 3 *as-install/config/asenv.conf* ファイル(**Windows**ではasenv.bat)を編集して、新しい**Java**ホームディレクトリをポイントするようにAS\_JAVAの値を変更します。
- 4 *as-install/samples/common.properties* ファイルを編集して、com.sun.aas.javaRoot...で始まる行を、新しい**Java**ホームディレクトリを参照するように変更します。
- 5 **CommunicationsServer**を再起動します。

ブラウザ

表2-2 サポートされているWebブラウザ

ブラウザ	バージョン
Mozilla	1.7.12
InternetExplorer	6.0Service2、 7.0
Firefox	2.x、 3.x
Safari	3.x、 4.x
Netscape	8.0.4、 8.1、 9.0、 9.0.x

## Diameter Adapter に関する既知の問題と制限事項

---

ここでは、Diameter Adapter ソフトウェアに関する既知の問題とそれに関連する解決策について説明します。問題の説明にプラットフォームが明記されていない場合、その問題はすべてのプラットフォームに当てはまります。

### ピアの作成後にトランスポートが間違っ**てTCP**として表示される (6907288)

#### 説明

TLS に指定したトランスポートを使用してピアを作成すると、管理コンソールにトランスポートのタイプが間違っ**てTCP**と表示されます。トランスポートは正しく TLS として記録されていますが、管理コンソールで正しく値を取得できません。

#### 解決方法

トランスポート属性の正しい値を表示するには、CLI を使用してください。

### **Diameter** サービスの作成時にドメインの再起動を要求するメッセージが表示される (6902001)

#### 説明

CLI を使用して Diameter サービスを作成したあと、管理コンソールにドメインの再起動を要求するメッセージが表示されます。

#### 解決方法

Diameter サービスは動的に再設定されません。Diameter サービスの作成後に、ドメインまたはクラスタを再起動してください。

## ピアホストおよびピアポートの値が同じ2つのピアを作成できる (6901940)

### 説明

asadmin create-peer コマンドでは、ピアホストとピアポートの値が同じ2つのピアを作成できます。

### 解決方法

作成時に --peerport オプションを使用してピアポートを指定し、同一ノードで複数のピアを設定するときポートが衝突しないようにしてください。

ホスト名およびポート番号が同じ複数のピアを設定することはできません。複数のアプリケーションをサポートする単一のサーバーを設定するには、単一のピアを設定し、サポートされるアプリケーションIDのリストを使用してアプリケーションを作成します。

## 管理コンソールの左区画に HTTP 500 ステータスエラーが表示される (6905525)

### 説明

asadmin create-diameter-application コマンドを使用して Diameter アプリケーションを作成したあと、管理コンソールにログインすると、管理コンソールの左区画に HTTP 500 のステータスエラーが表示される場合があります。この問題は、create-diameter-application コマンドの --applicationsid オプションに整数のIDを指定した場合に発生します。コマンドは成功しますが、管理コンソールがエラーをスローします。

### 解決方法

アプリケーションIDが整数である Diameter アプリケーションを作成するには、管理コンソールを使用してください。